

鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会委員の意見及び今後の取組みの考え方一覧表(平成30年度)

NO	施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標(KPI)	担当課	今後の取組みの考え方
1	全体	<p>①総合戦略に位置付けた事業を実施していけるよう、何をどうしたらよいかを常に考えながら、積極的に事業展開していただきたい。</p> <p>②事業が多すぎて的が絞れていない。日本ハムファイターズや梨にこだわりすぎない方がよいと思う。インフラ、交通、教育、医療、空き家対策等、市民に近い分かりやすいテーマでまとめたほうが良かったと思う。</p>	-	企画政策室	<p>①総合戦略に位置付けている全97の重要業績評価指標(KPI)のうち、平成29年度実績では、平成28年度と比較し、48の指標で上昇、27の指標で現状維持となっており、概ね順調に推移していますが、低下した指標の事業や目標達成に至っていない事業については、引き続き目標達成に向けて積極的に事業展開してまいります。</p> <p>②日本ハムファイターズ及び梨につきましては、重要な地域資源であると認識していますが、これに限らず、市の魅力向上につながる事業を行うとともに、委員の皆様からいただいたご意見を踏まえた分かりやすい事業展開を図ってまいります。</p>
2	【基本目標1】 都市軸及び近隣商業拠点の整備促進	<p>広域交流拠点整備事業(新鎌ヶ谷駅周辺整備事業)に関して、「新鎌ヶ谷駅周辺の回遊性」とあるが、KPIの新鎌ヶ谷駅乗降客数は、鉄道3社の改札通過人員の単純合計であり、乗換人員は考慮されていない。「回遊性の確保」には、「地元定着人口の回遊」と「駅乗換人員の誘因」の2面で考えるべきであると考え。将来のまちづくりには新鎌ヶ谷駅を起終点とする地元利用者と鉄道各社間の乗換状況の動向を詳細に調査分析することが必要ではないか。</p>	新鎌ヶ谷駅乗降客数(1日あたり)	都市計画課	<p>新鎌ヶ谷地区は、鉄道4線が交わる交通結節点として魅力ある広域交流拠点の形成を目指し、駅を中心とした回遊性の確保のため整備を進めています。鉄道4社の乗降客数については、平成29年度末に1日当たり10万人を超えたところです。</p> <p>今後の取組といたしましては、新鎌ヶ谷駅南北自由通路の整備を進めることで地区の利便性と回遊性を高めてまいりたいと考えています。ご意見いただきました、乗降客数の状況につきましては、鉄道会社の協力を得まして調査研究してまいります。</p>
3	【基本目標1】 都市軸及び近隣商業拠点の整備促進	<p>近隣商業拠点整備事業(北初富駅周辺整備事業)に関連して、北初富駅と新鎌ヶ谷駅の駅勢圏(駅を中心に半径1km)は各々約半分が市街化調整地域であり、今後大幅な人口増加は望めない状況である。故に、商業のさらなる活性化に不可欠な定住消費人口の確保がかなわないこと、また、両駅間の新京成・北総高架下を含め、企業誘致の武器となる「通勤しやすい場所であり、かつ、大面積の土地」が実質的に死蔵状態であることを鑑みると、都市マスタープラン及び都市計画(用途地域)の改正に踏み込んだ検討をすすめ、鎌ヶ谷市の立地特性やポテンシャルを最大限発揮できる環境を整えていく事が急務ではないか。</p>	-	都市計画課	<p>ご意見のとおり、新鎌ヶ谷駅周辺西側地区においては、北千葉道路沿線も含め、今後の本市のまちづくりにとって、大変重要な位置を占めるものと認識しております。</p> <p>将来の土地利用の考え方につきましては、現在、当該地区周辺で進められている、新京成線の連続立体交差事業や北千葉道路の整備の方向性、東京10号線延伸新線の跡地活用、新鎌ヶ谷西側の都市計画道路整備事業など、都市基盤整備の進捗や、地元地権者等の動向を踏まえ、今後、策定を予定している鎌ヶ谷市都市計画マスタープランの見直しの中で、検討してまいりたいと考えております。</p>
4	【基本目標1】 観光の振興	<p>観光入込客数については、平成28年度に大幅に増加し、目標値を超える約32万人という結果を得られたものの、平成29年度には逆に約29万人にまで減少(▲11%)し、目標値を下回る結果となってしまっている。</p> <p>その要因としては、大規模イベント開催時における天候不順の影響などが考えられ、平成29年度については、止むを得ない面もあったものと思料するが、今後、観光入込客数の底上げを図り、目標水準を可能な限り維持していくため、周辺他市等と連携し、市域を超えた観光振興方策の検討を進めてはいかかがか。</p>	観光入込客数	商工振興課	<p>周辺他市との連携として、回遊性向上を目的としたキーワード探索型のイベントを東葛6市で実施しています。また、北海道日本ハムファイターズを共有資源とする北海道や沖縄県での観光PRイベントを実施することで、引き続き関連自治体との連携強化や特産品の認知度向上を推進してまいります。</p>
5	【基本目標1】 観光の振興	<p>KPIの「観光入込客数」の内訳は、日本ハムファイターズ関連の客数ということでしょうか。鎌ヶ谷市民まつりの来場者はカウントされていないということでしょうか。</p>	観光入込客数	商工振興課	<p>「観光入込客数」については、①ファイターズ鎌ヶ谷スタジアム来場者数、②市内ゴルフ場来場者数、③産業フェスティバル来場者数、④市内宿泊施設への宿泊客数の4つの合計値を指標としています。鎌ヶ谷市民まつりについては、総合戦略策定時の千葉県の入込客数調査の対象施設・イベントと合わせる形としたため、指標として組み込んでおりません。</p>

鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会委員の意見及び今後の取組みの考え方一覧表(平成30年度)

	NO	施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標(KPI)	担当課	今後の取組みの考え方
6	5	【基本目標1】 快適な公園・緑地環境の整備	<p>①今年度行われたにニコカマフェスでにおいて、市民からのアンケートでは、「ボールあそびができる公園がほしい」、「水遊びができる公園がほしい」など公園に関する要望が多かった。</p> <p>②パークマネジメントについては、常設は難しくても少しずつ希望に応じていただきたい。</p> <p>③自治会地域内にある公園の名称を自治会名にするなど、その地域にふさわしい名称にしたらどうか。公園に対する愛着心の向上が期待できるのではないかな。</p>	市民1人当たりの公園面積	公園緑地課	<p>①「ボール遊びができる公園」につきましては、(仮称)総合運動公園の多目的広場を整備する際に、ボール遊びができるよう、防球ネットなどの設置を考えております。なお、現状としましては、公園ではございませんが、多目的グラウンドや学校の校庭を利用してボール遊びをしていただければと思います。「水遊びができる公園」につきましては、今後整備を予定している栗野地区公園の第二期整備計画の中で、小規模ではございますが、水遊びができる小水路の整備を予定しております。</p> <p>②パークマネジメントにつきましては、公園の清掃等を行う公園サポーター制度や、民間業者等が管理運営を行うPark-PFI制度がありますが、公園サポーター制度は、ボランティア制度であり、公園の清掃管理等にご興味がある方に対して公園緑地課窓口や電話にてご説明を行い案内をしております。Park-PFI制度につきましては、制度ができてから年数が浅く、全国的にも事例が少ない状態であるため、継続して調査、研究を続けてまいります。</p> <p>③公園の名称につきましては、公園のある所在地の字もしくは旧小字名を公園名とすることを基本としております。しかしながら、自治会など地域住民の総意としての要望があれば、名称変更に関する検討を行ってまいりたいと考えております。</p>
7	12	【基本目標1】 市ホームページリニューアル事業	<p>新しいホームページとなり、とても見やすくなったが、イベントカレンダーを開くと、課によってアップされている内容にバラつきがある。特に子ども、子育て分野は掲載がなかった。市内のイベントを今後バラつきなく見られるようにしていただきたい。</p>	市ホームページ閲覧件数	広報広聴室	<p>イベントカレンダーのジャンルによって、掲載情報に多寡が生じていることは認識しています。比較的小規模な催し・講座等の掲載についても検討するよう各所属に求め、バランスの良い充実したイベントカレンダーにしていきたいと思います。</p>
8	-	【基本目標2】 子育て支援の連携	<p>母親達が一步を踏み出すための支援があるとありがたいと多数の声をいただいている。</p> <p>また、子育て支援について、赤ちゃんから学校教育まで、学校と連携し、切れ目ない支援に取り組んでほしい。</p>	-	こども支援課 学校教育課	<p>母親達が一步を踏み出すための支援として、つどいの広場事業や子育て支援コーディネーターの設置、乳児家庭全戸訪問事業等、さまざまな事業を実施していることから、ガイドブックやHP等を活用し、情報の周知を行ってまいります。</p> <p>また、保育園・幼稚園と連携して、スムーズな学校教育への接続ができるように、保・幼・小連絡協議会を開催しているほか、小1プロブレム解決に向けて、スタートカリキュラムの作成の協議を進めています。</p>
9	-	【基本目標2】 子育て支援策の連携及びPR戦略の強化	<p>市内の幼稚園では、2歳児保育や、夜間7～8時まで預かり保育を実施し散る幼稚園もあるが、知らないお母さんが多い。幼稚園でも預けることができることを案内できたらよい。と昨年度意見させていただいたが、引き続き要望したい。</p>	-	幼児保育課	<p>幼稚園においても、子育て支援に積極的に取り組み、就学前の児童の幼児教育の向上に重要な役割を担っていただいております。市といたしましても、幼稚園に対しまして、預かり保育や振興費等の補助を充実しており、広報やホームページなどで、幼稚園の役割を引き続きPRしてまいります。</p>
10	17	【基本目標2】 放課後等における子どもの健全育成支援	<p>KPIの「体験した児童・保護者の満足度」は、目標は達成しているものの、平成28年度と比較すると満足度が16%も低下している状況に対し、今後の方向性として、「アンケート結果を踏まえた内容を実施することで、サービスの向上を図っていく必要がある」としているが、進捗評価にあたりまずは、具体的なアンケート結果や数値が低下した要因、またサービス向上に向けた具体的な取組内容などを明確にいただきたい。</p>	体験した児童・保護者の満足度	こども支援課	<p>放課後児童クラブの体験教室では、子ども達に様々な体験をしてもらうため、継続的なものではなく、新規の事業も積極的に実施しております。</p> <p>様々な教室を実施する中では満足度の高いものとそうでないものが出てまいります。アンケート結果を踏まえ、人気のある体験教室の継続実施や、実施要望の多いものを新たに実施する等、サービスの向上に努めてまいります。</p>
11	18	【基本目標2】 ひとり親家庭に対する情報提供	<p>ひとり親家庭支援情報配信事業については、平成28年度から平成29年度にかけて、状況にあまり変化がないように見受けられる。まずはメールマガジン配信までの具体的なスケジュールなどをお示しいただきたい。</p>	メールマガジン登録人数	こども総合相談室	<p>H31. 8月の児童扶養手当現況時にメールマガジンの配信開始を周知し、登録を受け付け、同月より配信開始予定です。</p>

鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会委員の意見及び今後の取組みの考え方一覧表(平成30年度)

	NO	施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標(KPI)	担当課	今後の取組みの考え方
12	19	【基本目標2】 こども発達支援の強化	こども発達支援の強化のKPIを「リーフレット配布数」としているが、リーフレットと実施事業との関連が不明であるため、進捗評価にあたりまずは、リーフレットの内容やターゲット等について、明確にしていきたい。	リーフレット配布数	こども支援課 こども発達センター	リーフレットでは、こども発達センターの事業である児童発達支援、保育所等訪問支援及び療育支援事業、指定障害児相談支援事業の周知が掲載されています。配布の対象は、18歳までの児童及び保護者等であり、事業を周知することで児の発達に対する不安や気づきを保護者が持った際に、早期に相談できることを目指します。
13	20	【基本目標2】 結婚や子育てを応援する街のPR	①KPIの「記念証の交付数」が市の施策の進捗を図る指標として適当か今後、検証していただきたい。 ②婚活イベントのような結果を伴う事業については、慎重に実施したほうが良い。	記念証の交付数	市民課 企画政策室	①「結婚や子育てを応援する街のPR」の施策に限定した達成度を測るKPIは、具体的な3つの事業の進捗状況などを踏まえて、総合戦略策定時点において「記念証の交付数」に決定したところ。策定後には、その他の事業も展開しているため、次期総合戦略の策定の機会を捉えて検証する一方で、基本目標2全体の目標値となる合計特殊出生率の上昇が大きな課題と認識しています。 ②婚活イベントは、平成29年度に市の新規事業として実施したもので、未婚者の出会いの場を提供するとともに、農家の後継者不足の解消、市のPRなどを目的に実施しています。今後は、2年間の事業成果やご意見・ご要望等を踏まえて、今後のあり方を検討してまいります。
14	21	【基本目標2】 若者世代の就職支援	KPIの「セミナーの開催回数」は目標値に達しているものの、セミナーへの参加者が少ない状況であることを踏まえ、セミナーに係る周知を強化するだけでなく、セミナーの内容自体の見直しを含めて、今後の対応を検討していく必要があるのではないかと懸念する。	セミナー開催数	商工振興課	昨年度実施したアンケート結果を基に、参加者が求めているセミナー内容を踏まえ、より多くの集客を目指すため、今後も、更に近隣市との連携を強め、セミナーの充実を図ってまいります。
15	23	【基本目標2】 保育料等の軽減	ひとり親世帯や生活保護世帯向けの給付事業の効果がKPIの「就学時前の児童数」の増減に直接的に現れるものか疑問がある。指標値と実施事業との関連付けや指標値自体の設定について、見直しの可否を精査していただきたい。	就学時前の児童数	幼児保育課	ひとり親世帯などだけに限定して評価指標を設定したものではなく、若い世代の経済的基盤の確保と子育てに係る経済的負担の軽減として、多子世帯の保育料などの軽減についての評価指標としたものでございます。なお、今後具体的な事業の選択につきましては、ご指摘の点を踏まえ検討してまいります。
16	24	【基本目標2】 ファミリー・サポート・センター事業の充実	実績値と目標値とに乖離が見られるため、需要の見込が過多であったのか、それともサービスの供給が追いついていないのかを検証していただいた上で、指標値自体の見直しの可否を精査していただきたい。	助成件数	こども総合相談室	目標値には援助活動件数に対する助成対象件数を記載しており、実績値には助成申請件数を記載したため乖離が生じています。29年度の助成対象件数は407件であり、今後実績値の記載方法を改めます。
17	35	【基本目標3】 鎌ヶ谷市の特性に応じた企業立地の促進	現時点ではまだ数値に表れてはいないものの、平成29年度から企業誘致に向けて、条例・規則の制定や協議会等の設置、マッチングシステムの導入、プロジェクトマネージャーの任用など様々な取組を進められており、今後の市の戦略的な企業誘致の推進に期待したい。	新たに立地した誘致企業数 新たに立地した誘致企業の雇用従業員数	商工振興課	引き続き、ハード面のインフラ整備とともに、平成30年4月から施行した「鎌ヶ谷市企業誘致促進条例」に掲げた進出企業への支援制度や、県内初となる民有地の協力を得る企業誘致協力金等に取り組むことで、ハードとソフトの2本の柱で事業を推進してまいります。
18	36	【基本目標3】 起業の促進	起業のための助成やサポートはとてもありがたいが、長く続く店を作っていく事も大切だと考える。 起業しても数年後につぶれて、また新しい店を起業するという繰り返しではなく、長く街に根付くようなフォローもあれば良いのではないかと懸念する。	創業支援事業申請件数	商工振興課	起業して数年で廃業とならないよう、千葉県産業振興センターよろず支援拠点の協力により、起業した各店舗へ巡回訪問を行っています。また、創業支援セミナーでは、セミナー受講者と先輩起業家の交流会を開催し、先輩起業家同志で直面する課題の共有や店舗をPRできる場を設定することで、事業の継続ができるようフォローしており、引き続きその充実を図ってまいります。
19	-	【基本目標3】 農業関係	農業には、新鮮で安心安全であり、かつ、生きていくうえで欠かすことのできない食料を供給する重要な役割がある。そのため、地域住民の農業に対する理解が重要である。	-	農業振興課	親子梨狩り体験教室や芋掘り体験教室など、農家の方と直接交流できるイベントの実施や、市民農園や援農ボランティアなど農業に対する理解を得られる機会作りを今後も継続して実施してまいります。

鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会委員の意見及び今後の取組みの考え方一覧表(平成30年度)

	NO	施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標(KPI)	担当課	今後の取組みの考え方
20	40	【基本目標3】 農産物ブランド化の推進	梨を市のシンボルとしてPRを続けているが、梨のPRは松戸市、船橋市、市川市、白井市も同様に行っており、県外者から見ると、その違いが良く分からない。 鎌ヶ谷市ならではの特別な品種の生産、創意工夫を凝らした梨のお酒やお菓子の生産、ラジオCMでのアピールなどが出来ればよいと思う。	ブランド化認定数	農業振興課	ふるさと名物商品推進事業の一環として、有楽町や羽田及び成田空港、東京スカイツリーのイベントスペースを利用したPRイベントの実施や、梨のインターネット販売を行うことで、鎌ヶ谷の梨の認知拡大を図っています。 また、商農工で連携し、梨ケーキや梨ワイン、梨アイス・シャーベットなど鎌ヶ谷の梨を使用した製品の創作を行っています。
21	43	【基本目標3】 女性の就労支援・促進	女性の復職・転職のためのスキルアップ講座を開催しても、実際の就業にはあまり結びついていない状況であるため、スキルアップ支援とマッチング支援とを一体的に実施するなど、効果的な事業展開について御検討いただきたい。	研修受講者の就業率	男女共同参画室	パソコンスキルアップ研修については、より就職に結びつくよう、履歴書に資格として書ける「P検3級」取得を目標としたプログラムに変更したところであり、マッチング支援の検討も含め、引き続き、より多くの方が就職できるような講座を展開してまいります。
22	48	【基本目標4】 社会参加に向けた障がい者福祉の推進	地域活動支援センター利用者数は、実績値と目標値とに乖離が見られたため、需要の見込が過多であったのか、それともサービスの供給が追いついていないのかを検証していただいた上で、指標値自体の見直しの要否を精査していただきたい。	地域活動支援センター利用者数	障がい福祉課	地域活動支援センター利用者数については、障害福祉サービスの就労支援系施設の利用者の増加に伴い、実績値と目標値とに乖離が見られます。障がいの特性に応じた日中活動事業として地域活動支援センターは重要な事業でありますので、次期計画策定の際は、就労支援系施設利用とのバランスを考慮しながら、指標値の設定をしてまいります。
23	50	【基本目標4】 かまがや安心医療ナビの設定	①「かまがや安心医療ナビシステム」とは具体的にどのような内容か知りたい。 ②「かまがや安心医療ナビシステム」がまだ構築されていない中で、数値が23.2%も上昇していますが、その要因は何でしょうか。	子育て世代でかかりつけ医がある人の割合	健康増進課	①「かまがや安心医療ナビシステム」は、鎌ヶ谷市の中心部からおおよそ5キロメートル圏内の医療機関(歯科を含む)の診療科目、診察時間及び地図などの情報を検索できるサイトです。 ②上昇の要因は、乳幼児健康診査、乳児健康相談などで、かかりつけ医の必要性を説明し、積極的にかかりつけ医を持つように勧奨したためです。
24	54	【基本目標4】 青少年育成指導体制の充実	進捗評価にあたりまずは、数値が平成28年度から低下し目標値を下回る結果となった要因や市としての対応策(「団体への活動の奨励・調整・支援」の具体的な取組内容)等について明確にしていきたい。	青少年団体会員数	生涯学習推進課	数値低下の大きな要因として、子ども会の加入数が減っていることが挙げられます。少子化の影響や習い事が充実していること、また共働き世帯が増えたことによる、保護者の負担感なども減少の原因と考えられます。今後の取組みとしては、どんな活動をしているのかを発信していくことが重要であると考えております。現在実施している子ども会をはじめとする青少年団体の広報紙などの配布を引き続き実施すると共に情報を広くキャッチし、活動しやすい環境を整えてまいります。
25	59	【基本目標4】 公共交通網の充実	鎌ヶ谷市は、鉄道網が充実しているが、市内幹線道路の渋滞を痛感している。 北千葉道路の開通により、上記問題が確実に改善されると思う。引き続き、早期計画の具体化に向け、国及び県への働きかけを継続してもらいたい。 また、新京成線立体交差事業について、予定どおりの早期化完成を期待する。	新京成線連続立体交差事業進捗率	道路河川整備課	北千葉道路に関してましては、早期の事業化に向けて、北千葉道路建設促進期成同盟による県及び国に向けた要望活動について継続してまいります。 新京成線連続立体交差事業については、平成31年度の全線高架化に向けて、事業主体である千葉県及び関係機関と調整し必要な財源の確保を図ります。
26	59	【基本目標4】 公共交通網の充実	新京成線連続立体交差事業に関して、平成29年に下り線のみ高架化したが、道路渋滞緩和が図られたか等の統計があれば、ご教授いただきたい。	新京成線連続立体交差事業進捗率	道路河川整備課	事業主体である千葉県が、平成30年度費用便益分析業務を発注し、道路渋滞緩和等の事業効果を分析中とのことです。 今後、事業効果を取りまとめた段階でデータを公表するとのことです。

鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会委員の意見及び今後の取組みの考え方一覧表(平成30年度)

	NO	施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標(KPI)	担当課	今後の取組みの考え方
27	66	【基本目標4】 自主防災活動の充実強化 及び防災意識の高揚	平成29年度の事業実績に「新たに自主防災組織を結成させ」との記載がある一方で、組織数は全体で94団体のまま増減はなく、一見すると記載内容に矛盾があるように見受けられますが、何か理由などはありますか？	段階把握団体数	安全対策課	自主防災組織を結成させるため、啓発活動を行うとともに未結成4団体と結成に向けた話し合いを行っていましたが、結成までにいたらなかったことにより94団体のまま増減なしとなっております。 つきましては、平成29年度の事業実績は、「平成29年度は、自主防災組織未結成の自治会等に啓発活動を実施し、自主防災訓練を実施した。」と修正します。
28	-	【基本目標4】 避難所運営関係	現在、教育総務課により、避難所別の運営委員会を設置する議論が進められているが、最近、地震・豪雨などの災害が多発しており、災害発生に対処できる避難所の構築が急がれる。	-	教育総務課 安全対策課	市の指定避難所全21カ所のうち、避難所運営委員会が設立されていない14施設の自治会等に対しては、運営委員会設立準備を促すための啓発活動及び説明会等を現在行っております。 また、既に設立されている避難所運営委員会については、参加支援を続け、避難所運営委員会・施設管理者・市担当者の活動精度を向上させ、マニュアル改正等を予定するなど、避難所運営の充実に向けた取組みを行っております。
29	-	-	①市広報誌は、新聞折込で配布されていますが、新聞を取っていない方への対応はできているのか。 ②市役所・公民館等においてある市広報誌の引き取り数はどのくらいあるのか。	-	広報広聴室	①新聞未購読者で広報かまがやの送付を希望する方にはポスティングによる個別配布を行っています。その他にも、公共施設、市内全ての駅や一部店舗等への配置、市ホームページへのPDF版の掲載、スマートフォン用アプリによる配信を行い、対応しています。 ②広報かまがやは、市役所の他、まなびいプラザ、児童センター、コミュニティセンター、学習センター(各公民館)、図書館など20の公共施設で配架しています。総引き取り数は約1,000部程度であると把握しています。
30	-	-	市からの回覧・配布資料、チラシは自治会経由で自治会加入者に回覧・配布されているが、自治会未加入者への対応は考慮されているか。	-	市民活動推進課	市からの配布資料等は、自治会回覧の他、広報・ホームページ・SNSでの周知、必要に応じ公共施設や学校等での配布等、様々な形で提供しております。 なお、自治会未加入者については、大災害の共助の点からも、機会あるごとに自治会加入を呼び掛けているところです。
31	-	-	市税を安くしてほしい。他市に比べて高い。	-	課税課	市民の皆様へ納付いただいております市県民税は、所得の求め方や控除額など、税率を乗じる課税所得の算出方法は、地方税法に定めるところでございます。また、固定資産税・都市計画税におきましても、地方税法で定められた評価基準により評価額を算定しまして、その税率は標準税率を採用しているところでございます。 本市の課税所得や課税標準額の求め方と税率は、近隣市と同様でございます。